

私立入試を終えて～公立高校受検に向けて～

無事に私学受験が終わりました。受験したみなさん、お疲れ様でした。もう結果が出た人もいればまだの人もいます。ところで、みんなは応援してくれた人、助けてくれた人に、結果と感謝を伝えることができますか。合格までには、自分一人の力ではなく、周りの助けがあったはず。どんな結果であっても、きちんと結果と感謝を伝えましょう。

専願で合格した人たちは、これから各種手続きがありますので、忘れずにきちんと確認しましょう。併願、単願の人たちは次の公立高校の受検が本番です！緊張感を切らさずに、第一志望合格をめざして頑張りましょう！

ところで、公立高校を受検する人は来週から進路懇談が始まります。懇談では「このまま頑張りましょう！」という話になる人もいれば、「ちょっと厳しいですね」という話になる人もいるでしょう。ここで厳しい話になったときのことを…

例えば…

過去数年でA高校を合格した人はだいたい評定合計35実テ380点→自分の評定は30で実テが350点→内申点、実テで80点差→当日のテストで80点を挽回→1教科16点多く取る

というように、より具体的な話になる可能性があります。あくまで過去の結果を参考にしての話になりますが、そういった厳しいことを言われたときには、**きちんと現実を受け止めてください**。先生たちは不合格になってほしくありません。不合格になることは自分が思っている以上にしんどいしつらいです。先生自身、第一志望の高校に合格できなかったのも、しんどさやつらさは分かっています。そのしんどさやつらさは懇談で厳しい話をされることなんて比べものになりません。

まずは担任の先生の話聞く。そのうえで現実を受け止め、進路選択をする。厳しい話をされた人もそうでない人も、なぜその高校に行きたいのか、本当にその高校で良いのか、当日点数がとれるのか、今一度考えた上で進路選択をしてほしいと思います。

かなり気分の沈む話をしましたが、**卒業後の進路選択で自分の人生は大きくかわります**。意地を張ったりせずに、本当によく考えて進路選択をしましょう。

進学先が決まった人たちへ

進学する学校が決まった人たちは、受験が終わってホッとしているかもしれませんが、まだたくさんの仲間が公立高校の受検を控えています。絶対に合格したい！と思い、日々勉強に励んでいます。そんな中、進路を決定することが目標となってしまう、最も大切な『これからの生活』がすっかりと抜け落ちてしまう人たちがいます。先日の納塔式でもそうです。自分の気分だけで発言している人いましたよね。そうやって進学先が決まった途端に学校生活が乱れる人がいます。

みんなの目標は、進学先の決定ではなく、進学先で充実した生活を送ることです。今の中学校生活をおろそかにしている人が、本当に進学先で充実した生活を送れるのでしょうか。中学校卒業後の生活を充実したものにできるかは、残り1ヶ月の中学校生活をどのようにすごすかで決まります。

周りを見渡せば、今も頑張っている人がいます。進路懇談で厳しいことを言われて落ち込んでいる人、進路に悩んでいる人がいます。きっと誰かに助けてほしいと思うこともあるし、協力してほしいと思うこともあるでしょう。

進学する学校が決まった人たちも、合格するまでには周りの助けがあったはずです。自分が頑張っているときに周りでするさくされたり遊ばれたりして腹が立ったこともあったはずです。「自分がまだ受験生だったら…」と考えてみてください。本当に適当に学校生活を送っていいのでしょうか。きみたちのこれからの学校生活が、今頑張っている人たちの受検結果を大きく左右すると思って学校生活を送ってほしいと思います。

進学先が決まった人たちへのお願い

- ◎授業中、今までよりも真剣に取り組むこと。学年集会でも言いましたが、中学校での学校生活や勉強は、今ではなくて進学してからや就職してからきちんとやっていくためのものです。
- ◎「もし自分がまだ受験があったら…」と思いながら学校生活を送ること。まだ頑張っている仲間がいる中で、どんな学校生活を送ることが良いのか、周りで頑張っている仲間のことを考えて学校生活を送りましょう。
- ◎勉強がわからない仲間がいたら教えてあげること。
- ◎最高の卒業式になるように、まずは自分たちが積極的に行動すること。
(※クラブに入っていた人たちは、OB・OGとして部活に参加するのもいいかもしれませんね)

